

住田町教育課程特例校グランドデザイン

～第10次住田町教育振興基本計画 基本目標～
生涯学び続け、新しい社会を創造する 心豊かな人づくり

小・中・高の12年間を通して【社会的実践力】が身につき、このような姿に育ちます。

歴史、文化、町の現状や課題の理解

町の発展・創造に関わる自分の役割を捉える資質・能力

A 地域理解

B 社会参画

「ひと・もの・こと」等の地域の実情を理解し、身の回りにある課題や問題を捉え、これからの地域の在り方や、よりよい社会づくりについて提案・発信する資質・能力

社会的実践力

C 人間関係形成

D 自律的活動

学びを深めたり目標の達成を行ったりするために、他者と協力する資質・能力

自分自身の置かれている状況や考え感じていることなどを認識し、それに応じてよりよい方向に調整しながら学びや活動を推進する資質・能力

3つの力が身についた子どもの姿

1. 体験活動を通じて、地域づくりを主体的に目指す態度
2. 他と協働するために積極的にコミュニケーションを図る態度
3. 郷土を愛し、持続可能な社会を創造しようとする態度

住田町では、平成29年度から令和6年度まで文部科学省・研究開発学校、令和7年度から教育課程特例校指定の教育活動を推進しています

新設教科【地域創造学】

【目標】

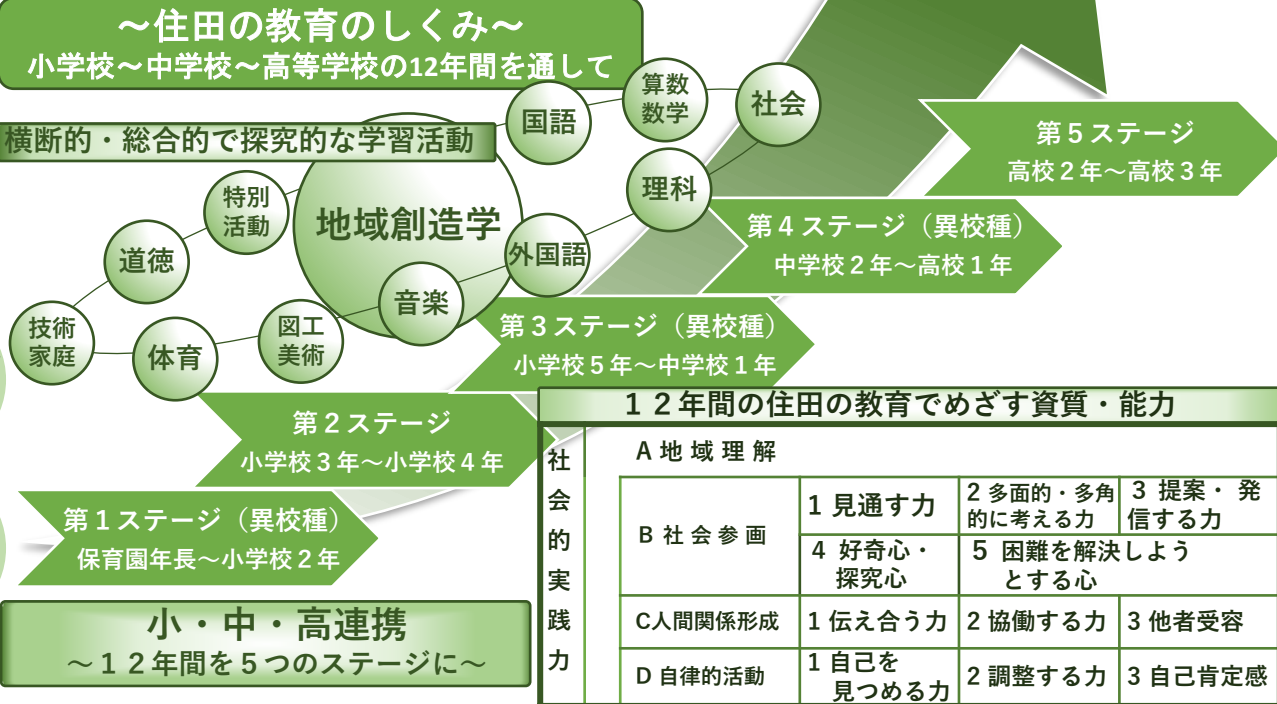
住田町及び近郊地域社会をフィールドにした横断的・総合的な学習を、探究的な学習活動を意図的・計画的に行うことを通して、新しい時代を切り拓き、社会を創造していくための社会的実践力を身に付けた心豊かな人材を育成することを目指す。

横断的・総合的で探究的な学びの実現

- 探究のプロセスを6つの要素に整理

地域との協働

- 地域創造学の目標を町民と共有
- 外部人材の活用



小・中・高連携
～12年間で5つのステージに～